S.COAT No.2000　Sクリヤー

（超速乾タイプ　4:1）

1. 製品の特徴

（4類第1石油類　荷姿 16L　2000年上市）

1）驚異的な速乾性でパネル塗装に最適。20 年のロングセラークリヤー。
2）タレ (流れ)、ワキ (アワ)、モドリ (色の変化) が発生しにくい。
3）シンナー希釈が多くできるため非常に経済的。
4）加熱残分37.0%　VOC削減率28.5%（HXクリヤー比）
5）実車塗装実績 150 万台。促進耐候性試験合格。

2. クリヤー、硬化剤、シンナーの配合量と希釈塗料の可使時間

混合比率（重量比率）			希釈塗料の可使時間 (時間)		
クリヤー	硬化剤	シンナー*	10℃	20℃	30℃
100	25	30 ～ 60	2	1	0..5

＊シンナー希釈量は推奨量であり、気温・塗装面積により調整してください。
(注意) 30℃以上の気温では可使時間が短くなりますので、調合後速やかにご使用願います。

3. 乾燥時間

	乾　燥　温　度（℃）			
	10℃	20℃	30℃	60℃
指　触　乾　燥	7 分	5 分	3 分	—
強制乾燥前セッティング	1 ～ 5 分	1 ～ 5 分	3 ～ 5 分	—
コンパウンド研ぎ可能	5 時間	3 時間	2 時間	5 分
屋　外　放　置　可　能	32 時間	16 時間	8 時間	15 分
ガ　ソ　リ　ン　O　K	72 時間	32 時間	24 時間	60 分
再　塗　装　可　能　時　間	—	—	—	60 分
完　全　硬　化	—	5 日	—	60 分

※膜厚、塗装面積、諸条件により乾燥時間は若干変わります。（標準膜厚30～50μ）

4. 硬化剤の気温による選択基準（Sクリヤー単独で1年間通じて使用する場合）

硬　化　剤　名	塗　装　温　度（℃）			
	5	15	25	35
速　乾	○	△	×	×
標　準	○	△	×	×
遅　乾	△	○	△	×
超　遅　乾	△	○	△	△

※冬場は超速乾や速乾シンナー、春秋は標準シンナー、夏場は遅乾や超遅乾シンナーを使用してください。塗装回数は2～3.5回。
ボカシ塗装は残りのクリヤーに1回目シンナーを30～50%、2回目さらにシンナーを50%添加し2段ボカシで行う。
※塗装の動画をYouTubeで公開しています。

5. 冬場は作業性を夏場は仕上がり性を希望される場合（T クリヤーとの併用）

製　品　名		適正温度範囲 (℃)			備　考
		硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
冬	S	5 ～ 15	10 ～ 15	—	5℃以下では硬化促進剤の利用も検討下さい。
春・秋	S/T	—	15 ～ 25	—	S / T の併用あるいは混合で使用下さい。
夏	T	—	20 ～ 30	25 ～ 40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

※SとTクリヤーの併用あるいはブレンド(混合)で季節に合わせた使用方法を行ってください。
※高級車にはFTⅢ等のクリヤーの併用もおすすめします。